



第 101 号

2023 年 8 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785
あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559
あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558
ケアステーションゆず ☎047-701-5506
看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331
幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵・高橋 聖大

幸樹101号は、
101歳の入山雪子さんに
インタビュー！



「幸樹発行・編集委員会」で、「101号には101歳の入山雪子さんの人生をインタビューさせてもらいたい」という意見がでました。そのことを入山さんにお話したところ、快くインタビューに答えてくださいました。

いつも穏やかで黙々と塗り絵などをしておられる入山さんは女手ひとつで息子さんを育てあげた働き者の人生を送っていました。

聞き手：看多機さんしょう

介護福祉士 柿崎皓祐

入山雪子さんは、大正11年3月4日に山梨県甲府市に8人兄妹の末っ子として生まれました。山梨のご実家

は花屋さんで、雪子さんも正月前などの繁忙期にはお手伝いをされていたと話されています。

30代に兄妹の方の知り合いとお見合いをして結婚されました。その方が東京でガス会社にお勤めされているため結婚を機に東京の荒川区に引っ越して来ました。荒川区では、町工場で働いていたそうです。山梨に住んでいる頃から町工場ですっと働いていたとのこと。

看多機さんしょうで、梅干しを作るため、梅のなり口を取りのぞいてもらったことがあります。竹串で、ひ



とつひとつ丁寧に取り除き、なり口をティッシュの上に並べ、最後にクルリとゴミをまとめる様子を「さすが！」と感心したことがあります。働き者の手は、休まず動き続けます。

若いころから働くことが身に付き、その習慣と心持が今の雪子さんを

作ってきたのでしょう。子供が出来てからは一緒に習字を習い、生け花も習っていたと話されました。雪子さんが40代の時に旦那様が亡くなってしまい、それからは女手一つで一人息子を育てられました。女手一つで子育てすることは容易なことではなく、雪子さんの強さがあるわれていると感じました。松戸へはご兄弟の提案もあり旦那さんの退職金で家建てて引っ越したとの事でした。その間も町工場を転々として常に働いていたと話されました。

現在101歳の入山さんですが、とても元気で笑顔が素敵な女性です。とても101歳とは思えないほど活力にあふれています。職員が介助にはいると必ず「ありがとう」「お願いします。」と気持ち伝えてくれて、こちらもとてもうれしい気持ちになります。実家が花屋さんだった



看護師 の こころ

あんず訪問看護ステーション
看護小規模多機能型居宅介護さんしょう

所長・看護師 南雲朋子

「その人らしくを大切に」

私が幸樹会に就職したのは2017年のはじめです。以前は病棟・外来などで働いていましたので、訪問看護に携わることになったのはここに入職してからです。きっかけとなったのは父親を亡くしたことです。病棟で医療機器に囲まれている父を、何とか大好きな自宅に帰せないかと試行錯誤し、あんず訪問看護ステーションに相談しました。

「父が家に帰りたと言っている。病状は良くないけれど、何とか家に帰す方法はないでしょうか」必死の思いで電話をすると、「往診してくれる医師と連携して、何とか希望を叶えよう」と動いてくれました。

入院中の病院の医師も了解してくれ、紹介状なども手配してくれました。自宅に帰ってからのことも、色々考え準備して、「さあ、明日家に帰ろうね」というところで、父は亡くなってしまいました。

結局、自宅看取りは、叶うことはありませんでしたが、その時の「ありがたい」「これで希望を叶えてあげられる」と思った印象が強く残っています。

幸樹会で働く中で、様々な人と関わり、訪問看護の持つ役割や課題を知りました。

病院では医師の指示のもとで患者さんの処置や治療を手助けしていましたが、訪問看護では、利用者さんの生活空間に入り、その人らしさを損なわずに必要な処置や治療を自宅で手助けしていくことになります。生活リズムや嗜好に加え、経済状況なども考慮。使用する物品を検討し、方法なども工夫します。もちろん本人、家族、ほかの関係者の意見も必要に応じて取り入れながら最善策を考えます。

病院では、入院という期間限定で、ある意味短期決戦ですが、訪問看護は、無期限の長期戦です。（全てがそうだとは言えませんが。）広い視野を持ち、先を見越して考えることが重要です。訪問看護は、利用者さんの自宅だけで完結するものではなく、生活する地域や関わる全ての人とうまく連携をすることで成り立ちます。

まず、利用者さんを理解しようとする気持ちを忘れずに関わることが大切だと思っています。利用者さんの言葉に耳を傾け、言葉の裏にある本当の気持ちに寄り添える看護師でありたいと思っています。



こともあり、花が好きです。花の絵を書いてさらに自身で色を塗って、自宅にはその絵が置かれています。一番好きな花はなんですか？と聞くと「ゆり」と答えられ、理由は清楚な感じがするからだそうです。

「看多機さんしょう」に通いに来られた時にも塗り絵を楽しまれています。「塗り絵しますか？」と尋ねると「やります」とはっきり答えられ、細かい花の絵に色鉛筆を使って丹念に色を付けています。

昔から貧乏症で、女手ひとつで子育てしてきたため贅沢や自分のことは二の次だったとのこと。今も息子さんと二人暮らしで、息子さんが用意してくださるお食事でも美味しそうですが、「看多機さんしょう」に来た時は、ゆっくりしていただき、おいしい物を食べて頂けたらと思います。何か食べたいものはないかと聞くと、特にないと話されましたが、果物がお好きで「メロンとかいいわね」とのことですので、機会があればおやつ時や昼食に召し上がっていただけるよう計画したいと思います。いつまでもお元気でお過ごしいただけるように、楽しい時間をすごせるよう支援していきたいと思っています。



雪子さんはじめ利用者さんと作った2023年の梅干しは、この夏のカンカン照りであつという間に乾きました。雪子さんに味見をしていただくと「良いお味です。」との感想をいただきました。

夏バテ防止に、塩分補給に自然の味を取り入れていきたいです。



デンマーク便り...④

ラスムッセン 京子

デンマーク救急医療の現在

今回はデンマークの救急医療について書きたいと思います。デンマークでは一般医の診療を受けられない夜間や祝日、週末などの際1831に電話して、必要であれば入院または治療薬の処方箋を発行してもらえます。

それが此のところ、待ち時間が1時間19分5秒すると何度かけても切れてしまうという怪事件が報告されています。片方の腎臓摘出手術を受けたダニエル シュミットさんはインタビューに答えて、激しい痛みが残っている方の腎臓に結石によるものではないかと思ひ痛み止めを服用しても更に痛みはまして、耐えられなくなり1813に連絡したところ前述のように切れてしまう。遂に救急112番（交通事故や心臓発作など全く待つことが出来ない状態の場合に連絡する）こちらの方に連絡せざるを得なかったそうです。こういう例は数多く報告されていて統計が取られています。

デンマークは大きく5つの地方に分かれてこの1813救急システムを導入していますが、連絡出来ないうちに長時間待っても切れてしまうというのは以下のような現状です。

(2022年連絡件数 2023年前半期連絡取れない件数)

地域	2022年連絡件数	2023年前半期連絡取れない件数	2022年	2023年前半期
北ユトランド	382.949件	110.640件	29%	34%
中央ユトランド	822.669	164.653	22%	22%
南デンマーク	788.247	101.722	13%	13%
シェッランド	509.871	133.443	26%	30%
首都圏	1.296.517	411.848	32%	18%
全国	3.800.253	922.306	24%	21%

人口の分布は上記から 10,2%, 22,2% 21,2% 14,5% 31,3% となっています。



北ユトランドとシェッランド地方の増加の傾向が懸念されています。そもそも連絡が取れないということが問題でその傾向が増加するなどもつてのほかです。休暇明けの8月には今年の前半期に関するありとあらゆる統計が発表され問題点が浮き彫りになって、対策協議が議論されることとなります。

地域交流カフェ

8月15日(火) 11:00~14:00

夏祭りを開催します。
運営推進会議も同日開催します。
スイカ割、盆踊り、屋台風食事などを楽しみましょう!!



八柱学習会のお知らせ

▼次回学習会予定(「定例日:毎月第3金曜日」)
8月18日(金) 18:00~、幸樹会館2階
テーマ:「認知症実践者研修の報告
Hさんの事例を通して考える」
報告・師山亜紀(看多機さんしょう 介護福祉士)
《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

1,139KWh



幸樹会館電力使用量 5,681KWh 自給率 20. %

職員募集! 非営利・働きがいある職場 看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり
問い合わせ: 本部長中野まで、☎047-701-7550